

平成17年11月 1日発行

第7号

発行 / 老岐市議会

編集 / 議会広報特別委員会



議会だより



はっけよい！（9月3日 第8回一支国幼児相撲大会）

募集
あなたの写真が
表紙を飾る！
19P

一般質問
16名が市政を
質す！
10P

予算特別委員会
ちょっと待った！
一支国博物館
8P

正
補
1億6千万円
漁業に支援策
5P

初議会
新議会の顔ぶれ
委員会の構成
2P

新議会の顔ぶれ



初議会の様子（8月7日）

去る八月七日に行われた
ぎふ市議会議員選挙に
より二十六名の議員が誕
生して初市議会となる、
平成十七年第三回ぎふ市
議会臨時会が八月十七日
の一日を会期として開か
れ、これからの市議会の
先導役でもある議長、副

議長を選出。その後議会
委員会条例の一部改正や
議会広報特別委員会設置
決議の議員発議二件、条
例の一部改正の専決処分
の承認一件、監査委員の
同意一件が原案の通り承
認可決。また、議会構成
として常任委員、議会運

営委員、議会広報特別委
員の選任に続き各委員会
の委員長、副委員長を選
任し、この他長崎県離島
医療圏組合議員を選出。



副議長就任挨拶

小園 寛昭

このたび、同僚議員皆様のご推挙により、副議長の大役を担うこととなり、身に余る光栄と感謝しております。

深見議長のもとに、議会が公正かつ円滑に運営され、なお、議会本来の監視機能が十分発揮できるよう、誠意を以て協力し、努力する覚悟でございます。これからは地方にとっては難しい時代ですが、多くの市民が望まれる方向で議論し、議会の民主化と活性化に精一杯努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



議長就任挨拶

深見 忠生

議会解散後の初議会におきまして、議員皆様のご推挙により、議長に就任致しました。光栄に存じ、感謝致しております。

浅学非才の身でございますが、市政の推進と議会の円滑な運営のため全力で頑張ります。

議員皆様を始め執行部、市民関係皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願いし、就任のご挨拶とします。

総務文教常任委員会



所 管

総務部・消防本部
教育委員会・会計課
選挙管理委員会・監査委員

委員名

委員長	中田 恭一	副委員長	久間 初子
委員	小園 寛昭	委員	倉元 強弘
委員	鵜瀬 和博	委員	田原 輝男
委員	坂本 拓史	委員	音嶋 正吾
委員	町田 光浩		

厚生常任委員会



所 管

市民生活部
市民病院
かたばる病院

委員名

委員長	近藤 団一	副委員長	町田 正一
委員	市山 繁	委員	瀬戸口和幸
委員	中村出征雄	委員	市山 和幸
委員	今西 菊乃	委員	小金丸益明

産業建設常任委員会



所 管

産業経済部
農業委員会
建設部

委員名

委員長	赤木 英機	副委員長	大久保洪昭
委員	牧永 護	委員	久間 進
委員	馬場 忠裕	委員	坂口健好志
委員	豊坂 敏文	委員	深見 義輝

議会広報特別委員会

委員名

委員長	鵜瀬 和博	副委員長	今西 菊乃
委員	豊坂 敏文	委員	市山 和幸
委員	深見 義輝	委員	町田 光浩

議会運営委員会

所 管

議会運営
議長の諮問

委員名

委員長	牧永 護	副委員長	倉元 強弘
委員	赤木 英機	委員	近藤 団一
委員	瀬戸口和幸	委員	中田 恭一

定例会の概要

平成十七年第三回沓岐

市議会定例会は、九月二

日から二十九日まで二十

八日間の会期で開かれた。

本年度一般会計補正予

算八億二千六百三十万円、

特別会計補正予算七千八

百九十九万円を始めとし

る議案三十四件、報告二

件、承認一件、決算認定

二件、要請一件、発議二

件を審議した。

二日は議長より諸般の

報告、市長の行政報告に

続いて議案の上程、それ

についての説明がなされ

た。

七日は上程議案への質

十三日は常任委員会、

十四日は予算特別委員

会が行われ、それぞれ付託

案件の審議が行われたが、

予算特別委員会は審議が

長引き、採決が出来ずに

延期となった。

十六日に会期延長の提

案があり、二十九日まで

となった。

一般会計補正予算（第

三号）と平成十六年度病

院事業会計決算認定（休

会中の審査）を除いて議

案審議が行われ、議案二

十二件、認定・要請・発

議各一件が原案通り可決

した。

二十六日に予算特別委

員会が開催され、一般会

計補正予算（第三号）の

審議がなされた。

二十九日に議案十二件、

発議二件が上程され原案

通り可決したが、一般会

計補正予算（第三号）中

の一支国博物館（仮称）

建設業務委託料三千六百

四十万二千円は付帯意見

付となった。

九日は一

般質問が

行われ、

十六人が

登壇した。

市長 行政報告



行財政改革

厳しい財政状況の中、

基金の取り崩しで財源を

捻出している。

行財政改革大綱・同実

施計画の策定と同時に平

成十七年度を起点とし、

平成二十一年までの「集

中改革プラン」を公表す

る。

百名の登録を目指す。

知的障害者通所授産施設

国、県の内示があり市

でも予算計上。

乳幼児福祉医療費

助成対象年齢を入院、

通院ともに就学前とする。

介護保険新予防給付 ケ

アマネジメントモデル事

業。長崎市と沓岐市で実

施。

一般廃棄物処理施設 整

備検討委員会答申が出さ

れた。事業実施に向けて

協議する。

農林・畜産関係

ながさき牛づくり振興

大会。五島市で開催。応

援者の参加経費一部助成

豪雨による自然災害復旧

等。

水産関係

離島再生支援交付金制

度（五力年間）を最大限

に活用。

観光関係

岳ノ辻園地整備。イル

カパークにイルカを購入。

公営住宅関係

地域住宅計画（五力年）

に基づき計画。

教育関係

中学校の統廃合につき

パブリックコメント（市

民から意見を募る制度）

の実施計画。

預かり保育を郷ノ浦幼

稚園で実施。他の幼稚園

は整備ができ次第、開始

松永記念館展示室等天

井にアスベスト吹き付け

があり、除去工事のため

休館。

「原の辻イベントラ

リー2005」と題し、

国特別史跡指定五周年記

念事業の計画。

病院事業関係

市民病院、外科医を山

口大学より一名派遣。医

薬分業に向けて検討。か

たばる病院、後任の院長

は十月より採用予定。

9 月補正予算

議会費7,536万円減額

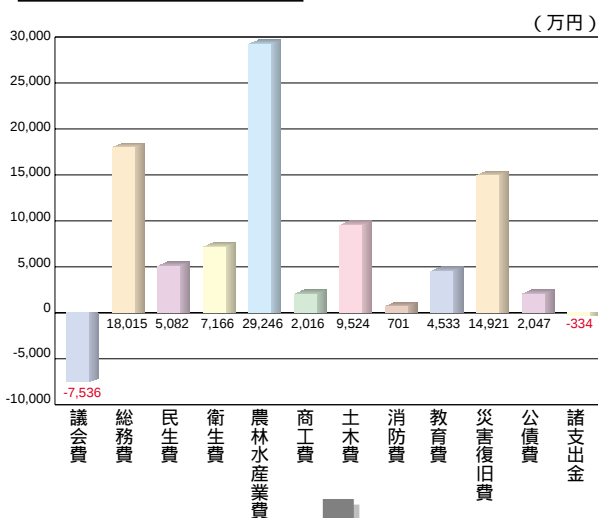
(議員報酬 5 % 減額等)

主要事業一覧

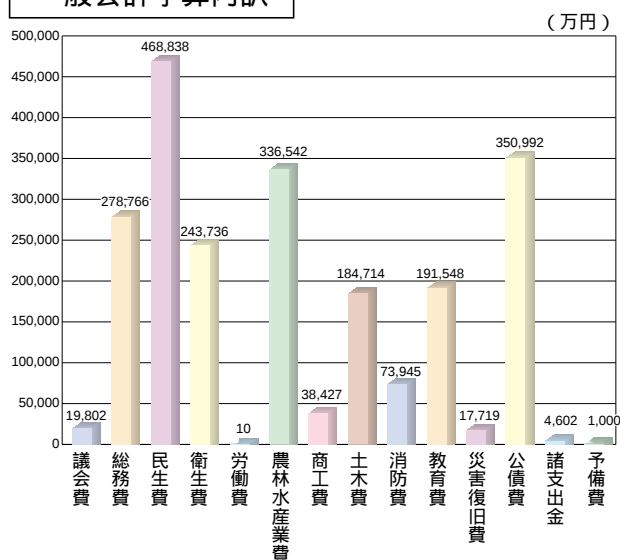
一般会計

	(万円)
アスベスト調査業務委託	105
知的障害者通所授産施設整備費補助金 知的障害者通所授産施設「結」	2,396
児童手当・児童扶養手当給付事業	1,550
自給肥料供給施設整備事業 (勝本) 自給肥料供給センター パキュム車、ショベルローダー	3,985
農地保有合理化促進事業 農地流動化奨励事業	1,069
生産振興総合対策事業 米色彩選別施設、麦比重選別機、種子調整施設補助	8,100
ふるさと農道緊急整備事業 亀松地区 (勝本) L = 100m W = 5.0m	2,000
自然災害防止事業 大島地区、初山東地区、麦谷地区	1,359
水産業振興総合対策事業 離島漁業再生支援交付金事業 ほか	19,150
水産基盤整備事業測量設計業務委託料 湯ノ本漁港測量設計業務委託 八幡浦漁港・湯ノ本漁港費用対効果分析調査委託	1,001
21世紀まちづくり推進総合支援事業 イルカパーク再生事業 (イルカ購入) スポーツ合宿のまちづくり事業委託	2,100
県営道路整備事業負担金 一般県道湯ノ本勝本線改良工事 外 8 路線	3,375
公営住宅建設事業	1,337
一支国博物館 (仮称) 整備事業 建設業務委託	3,640
松永記念館改修工事	1,730
農地及び農業用施設災害復旧事業 (補助) 農地67地区、施設12地区 (単独) 農地35地区	10,786
漁港施設災害復旧事業 (補助) 八幡浦漁港 3 ヲ所、山崎漁港 1 ヲ所、七湊漁港 1 ヲ所 (単独) 八幡浦漁港 外 10 ヲ所	2,053
公共土木施設災害復旧事業 (補助) 道路 2 ヲ所、河川 3 ヲ所 (単独) 道路 13 ヲ所、河川 1 ヲ所	2,021
漁業集落排水施設整備事業 芦辺漁港 (瀬戸地区) 下水管渠埋設工事 L = 200m、処理場用地施設	2,958

9 月補正予算内訳



一般会計予算内訳



一般会計 9 月補正	8 億 5,380 万円
予算総額	221 億 640 万円
特別会計 9 月補正	7,809 万 9 千円
予算総額	132 億 5,787 万 8 千円
補正合計	9 億 3,189 万 9 千円
予算総額	353 億 6,427 万 8 千円



使用禁止となっているジェットバス（サンドーム）

平成十六年度長崎 県市町村土地開発 公社決算報告

Q ① 吉崎市民病院の病院用地は、どこ所有か
② 市民病院取得の未償還金が五千五百三十二万五千円ほどあるが、今後、どの会計で償還されるのか
A ① 病院用地は吉崎市の所有で、無償貸与。今後、所要の手続を行い、その名義の変更が必要と思う。
② 借入金の償還は、一般会計より償還する。

平成十六年度（財）吉 崎市民開発公社（吉崎 島荘・サンドーム）事 業会計収支決算報告

Q 吉崎島荘の減価償却費約百十五万円と同規模のサンドーム約二十五万円の差は。
A 減価償却の対象が吉崎島荘は建物他全てだが、サンドームは、建物は市所有のため中の備品だけである。

Q 吉崎島荘、サンドームの今後の経営改善策は。
A 両施設とも従業員の

経営ミーティングを毎月行い、材料の単価をできるだけ下げ努力をしている。吉崎島荘の家族風呂は利用者が少ないので通常は閉鎖とする。サンドームの開館時間を十月から三月まで二十分短縮し、パートの給料その他を削減する。抜本的なものは理事会等で今後十分検討をしていく。

Q サンドームのジェットバスはなぜ、使用禁止か。
A 平成十五年の法の改正により毎日水を入れ換えなければならず、利用者数、水道料、燃料代、人件費等を考慮すると停止せざるを得ない。

Q 新市町村合併支援事業特別交付金の内容は。
A 県の交付金で、全体で九億円。補助率一〇〇割。十年間で交付。合併前の移行経費や合併後のまちづくりに要する臨時的経費に充てることができる。

Q シルバー人材センターの登録状況と今後の予定は。
A 登録は現在六十名。八月二十五日に十八人の発起人会を開催。第二回は九月二十二日に予定。九月三十日に総会予定。会員の状況は社会福祉協議会の会員の方、賛助会員の方が大部分で今後は老人クラブ等を中心と呼

Q 知的障害者通所施設整備事業費補助金二千三百九十六万九千円の施設の内容、補助率等は。
A 在宅の知的障害者を対象とした二十人の通所授産施設で、木造平屋建ての五百十九平方メートル、約百五十七坪、総事業費九千七百一十一万九千円。授産科目として、ごみ袋班、農業班、木工班、手工芸班、空き瓶・空き缶洗浄班を計画。国・県の補助金は四千九百十八万円。総事業費から国・県の補

Q 知的障害者の通所授産施設二千三百九十六万九千円、法人の認可申請中にもかかわらず、予算計上しても大丈夫か。
A この補助金は、以前から市と協議し、国、県の補助内示があり、それに伴って市も予算を計上したもの。

平成十七年度 吉崎市一般会計 補正予算（第二号）

Q 今年度の地方交付税の額と前年度対比は。
A 十七年度の交付税の額は九十一億九千四百八十二万五千円、十六年度は九十一億七千六百二十一万八千円。前年比で〇・二割、千八百六十七千円の増。

Q 知的障害者の通所授産施設二千三百九十六万九千円、法人の認可申請中にもかかわらず、予算計上しても大丈夫か。
A この補助金は、以前から市と協議し、国、県の補助内示があり、それに伴って市も予算を計上したもの。



家族風呂（吉崎島荘）

びかけ、十月をめどに法人認可の百人を達成するようお願いをしている。

助残の二分の一を補助。

Q 現在、吉崎市のごみ収集搬入処理業務は直営三町、郷ノ浦町民間委託をされているがコスト的に比較したときに、どちらが安いのか。
A 収集量で計算すると、

現在、吉崎市のごみ収集搬入処理業務は直営三町、郷ノ浦町民間委託をされているがコスト的に比較したときに、どちらが安いのか。
A 収集量で計算すると、

くわしゅら



美しい砂浜を取り戻そう！（清石浜）

各町それぞれ違うので難しいが、概略で計算すると郷ノ浦町民間委託が安いと思われる。

Q 不法投棄物等撤去事業県補助金四百五十万円はどこのどの地域用に使われるのか。

A 郷ノ浦、勝本の海岸線を中心に実施予定。予算の範囲内で芦辺、石田も漂着物の多いところは撤去予定。漂着物は現地調査を行う予定にしている。

Q 離島漁業再生支援交付金一億六千四百八十三万二千円の内容は。

A 平成十七年に新規に国の施策として法律が制定され、本年から平成二十一年までの五力年間交

付。離島の漁業集落における漁業再生のための活動を支援する目的で、集落協定の策定、生産力向上に関する、集落の創意工夫を活かした新たな取り組みである。ただし、現在、国・県の補助を受けている活動は対象外。

各漁協の計画書を県に提出、認定後各漁業集落と漁協との提携協約書に基づき十一月以降に補助金交付予定。

Q 漁業後継者及び新規就業者に対する対応は。

A 市と漁協関係者で組織する志岐市漁業就労促進協議会を設立準備中。就業希望者等に対するPRや情報発信のためホームページを開設予定。二十一世紀漁業担い手確保促進事業として新規就業者に中古船をリースし、一定期間の所得保障等も計画。

Q 長崎県商店街再発見支援事業補助金二百万の内容は。

A 郷ノ浦商店街の空き店舗対策事業として休憩や情報発信の場として利用。事業主体は郷ノ浦町の商店街。

議案質疑

もうちょっと

金が百九十三万円増額の内容は。

A 志岐島荘の空調が非常に老朽化し、お客様の苦情もあり、旧公立病院の食堂の空調機を再利用するための移設費。

Q アスベストの調査の進捗状況と市営住宅は大丈夫か。

A 市有建物は二百棟以上で二百三十四棟について書類上の調査実施。その結果は規制の対象となっていないが、疑わしいというものが一部あるので今回第二次調査を行う予定。市営住宅は現時点では問題はない。

Q 一支國博物館（仮称）建設業務委託料三千六百四十万の内容と委託先は。

A 一支國博物館の設計運営業者の選定費二百八十九万、アドバイザーの委託料五百万、設計等の管理委託料等二千八百六十九万九千円、事務費六十一万四千円。委託先は一括して県の学芸文化課。

Q 電波法による防災行政無線の再免許及び呼び出し変更申請は委託せず

Q 志岐市開発公社補助

に担当課で可能ではないか。

A 五年ごとの再免許申請で消防団の車や市有車に積載している移動系が百三十九局、呼び出し名称変更で同報系が二百九局、移動系が百三十九局あり、それぞれに申請書を作成しなければならなので委託とした。

訴えの提起について市営住宅の家賃納入及び住宅明渡し（請求）

Q 税や水道料、住宅使用料の未納についてなぜ

地域間格差があるのか。今後の対策は。

A 大きな原因として納付者の納付に対する意識の違いや旧町の段階において、収納体制が十分整備されなかったため。今後は職員に税の重要性を十分指導し、さらに滞納解消に努め、水道料は給水停止、住宅使用料は保証人からの徴収等強化し、改善されない場合は住宅引き渡しなど法的手段をとる。



公用車に積載されている行政防災無線（移動系）

一支国博物館

どう使う？合併特例債

予算特別委員会の経過

一支国博物館（仮称）に関する今回の予算計上額は一億三百万円余りだが、総額約四十億円にのぼる莫大な費用を要する建設計画であり、将来に亘って巨額の管理運営費を伴うものである。

市の実質の持ち出しは四億円であり、管理運営費の半額は県が補助するという説明だが、にわかに信じ難く、しかも、県立埋蔵文化財センターとの共用部分の建設費約十三億四千万円は市の合併特例債を利用するという。

九月十四日の審議では減額修正するとの意見が出されたが結論は出ず、日を改めて協議をすることと合意した。

九月二十六日、市長より『①予算の凍結

②特別委員会を設置していただいて審議継続その結果、十二月議会で計画の可否も含めて決断する』との申し出があった。

断固否決すべきとの意見と、特別委員会を設置して徹底的に審議すべきという意見に分かれたが、苓岐市の将来を左右しかねない重要案件であり、意見書を付して原案可決とし、特別委員会に委ねることになった。

予算特別委員会

委員長		副委員長		委員	
馬場	忠裕	深見	義輝	小園	寛昭
赤木	英機	中田	恭一	市山	和幸
今西	菊乃	坂本	拓史	小金丸	益明
音嶋	正吾				

約40億円

ちょっと待った!!

付 帯 意 見（前文略）

- 1 一支国博物館の規模については、市の財政規模に見合った必要最小限のものとし、いたずらに過大な財政支出とならないよう、大きく縮小の方向で見直すこと。
- 2 事業効果を過大に期待しすぎることがないように、周囲の経済環境を十分認識した現実的な事業運営計画を樹立し、また、維持管理費を含めた将来の財政計画を明瞭に示すこと。
- 3 関連説明によると長崎県立埋蔵文化センターの建設に壱岐市の合併特例債を13億4千万円充てるとなっているが、にわかに認めがたく、建築物の所有関係並びに維持管理費の負担内容を明らかにすること。

一支国博物館(仮称)建設に関する調査特別委員会

										委 員	市 山 繁	副 委 員 長 倉 元 強 弘	委 員 長
音 嶋 正 吾	町 田 光 浩	小 金 丸 益 明	深 見 義 輝	坂 本 拓 史	田 原 輝 男	鶴 瀬 和 博	中 田 恭 一	馬 場 忠 裕	久 間 初 子	小 園 寛 昭			

市政を質す！

一般質問16名



中村出征雄 議員



Q 市民病院の管理運営は

①病院管理者の選任はいつになるのか。
②長崎県離島医療圏組合に市民病院が加入した場合のメリット・デメリットは。

A 長田市長

①医療行政に精通した医師出身を鋭意模索選任中。
②県からの経費負担というメリットがある。

Q 図書館員の処遇改善を

郷ノ浦図書館は常勤三名、石田図書館は臨時雇用二名で隔日勤務（社会

A 須藤教育長

諸問題を解決し、善処していく。

Q 石田町流川川の整備

河川幅が狭いため、氾

保険なし）。利用状況については、ほぼ同じであり、不公平ではないか。現況の利用状況からしても、今後は常勤二人体制にすべき。

A 長田市長

県営圃場整備事業区域であり、地方局並びに県の本課と協議中。その結果で対応を検討する。

濫しやすい災害地帯である。そのため江里線は通学路で再三にわたり通行止めとなっている。児童生徒の安全確保及び事故防止のためにも早急な河川整備が必要である。



石田町流川川



学童保育「えむ・はうす」

中。に検討
を目標

音嶋 正吾 議員



Q 市長の政治姿勢

就任して一年五ヶ月が経過するが、自己採点するならば何点と考えるか。また、選挙公約の島内燃料費を下げる方策の進捗状況は。

A 長田市長

三位一体改革で地方行政は厳しい状況下で、いかに効率的かつ有効的な行財政運営をしていかな

ければならない。また、油の価格については関係団体と協議中。

Q 子育て支援

放課後児童健全育成事業の推進を。就労と子育ての両方支援の上でも重要である。出生率の低下により、校舎もスペース的に余裕がある。事故が生じてからでは遅い。早急に取り組むべき。

A 長田市長

平成十七年度事業として民間の二施設に委託し、開設している。今後、平成十六年度に策定した、次世代育成支援対策行動計画の中で平成二十一年

A 須藤教育長

空き教室についてはそれぞれ目的に応じて利用している。

Q 固定資産税の問題

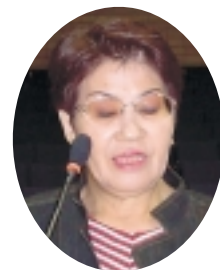
旧郷ノ浦町における平成六年度固定資産税の評価替えは地方税法四〇二条二項に基づき、適正な方法でなされたか。

今なお、納得されない方が存在するのはなぜか。原因を追究すべきである。催促状の送付漏れはないか。

A 長田市長

平成六年度の評価替え分の宅地・雑種地の評価が適正でなかったため、平成十五年度に見直し、修正後、返還通知した。現在、課税の方法は修正によって適正にされている。

久間 初子 議員



Q 商店街活性化

旧四町に空き店舗が見受けられるが、この対策として市長はどのような政策を考えているか。

高齢者や子供連れの母親等とが自由に利用できる場、また、週一回くらいは保健師等を派遣し、相談のできる施設をつくれれば、バスの無料化を利用し、高齢者の方々が商店街に来て買い物をして頂けるのではないか。

A 長田市長

現在空き店舗を活用すべく県の補助事業で取り組んでいる。商工振興は

行政と商工会、また商店街が一体となった事業の取り組みが必要であり、連携をとっていく。

Q シャトルバスの状況

市民病院行きバスの利用状況、運行契約内容等の提示を。

A 長田市長

シャトルバスの状況は、五月六日の外来診療開始と同時に郷ノ浦港の三島丸発着所、本町、新道、八畑、団地入り口、品川病院前、桜川、市民病院間の連絡バスを運行して

いる。利用状況は休診日を除くと、八月末で一日平均六十五人。

Q 議員報酬

住民投票による解散の目的は、市の財政難を考へての判断であり、経費の削減ではなかったのか。四役を含め来年の二月までの据え置きが妥当。その後の見直しは必要と考える。

A 長田市長

合併前、報酬等審議会の答申により合併協議会に報告し決定されたものであり、定数二



老快待所で「おいおいまっせ！」

十六名の市議会になった時は、速やかに見直しを図るべしというものであった。今回、答申通り改定すべく準備を進めてきた。



えいか
盈科小学校

町田 光浩 議員



Q 地域情報ネット ワーク

今年初めに地域情報化に係る検討チームが発足したが、その後の進捗状況は。地域情報ネットワークの実現は、市民サービスの充実・高齢者福祉・防災対策の強化・行政事務の効率化等に非常に効果的であり、将来的な財政負担も起きてはこない。地理的にも不利

な離島だからこそ、情報へき地にならないよう早急な整備体制をとるべき。

A 長田市長

本年度中に部長等で組織する情報化推進本部と、住民や産学官を交えた情報化推進委員会を設置し、吉岐市情報化基本計画を策定する。

また、原案となる情報化構想を作成中であり、構想ができた次第委員会を開催する予定。

Q 市内図書館の整備

蔵書管理、図書館整備について、その後検討は

進んでいるか。小中学校の図書室を含めたネットワークの整備計画、もしくは巡回司書の配置は。

A 須藤教育長

市内公共図書館と各小学校、中学校との図書管理システムのオンライン化を進める。また県の非常に有利な補助もあり、関係諸課と検討中。

図書館巡回司書については、現在行なっている図書ボランティア養成講座の研修者の協力を仰ぐ。また、司書免許を持った職員の活用も図っていく。本当に本の好きな市民の協力、またその熱意の発展、発揮する場を設けていきたい。

鵜瀬 和博 議員



Q スポーツ施設整備 充実を

様々なスポーツ交流を通して島外より子どもをはじめ多くの方々が来島、食事や宿泊等波及効果は大きい。毎回参加者も増えているが、現在の施設整備では制約・限界がある。吉岐の活性化や一流選手創出のため公式対応の施設が必要。今後の整備計画及び構想は。

スポーツの振興は公約でもあり、ご指摘のように市内の各体育施設は老朽化し、公式戦のできる施設がない。公式戦の出

A 長田市長

来る施設として武道場を兼ね備えた石田スポーツセンターを今年度設計、十八年度建設を計画している。その他新規建設は当面具体的な案は持っていないが、青嶋と大谷公園の改修等は今後検討する。

Q 水産業に更なる 支援を

①近年の水産業を取巻く環境は大変厳しいが、マグロ漁は好漁。現在水産業補助事業の漁船機器導入事業ではリール等は対象だが、肝心の釣竿は対象外である。ぜひ釣竿も補助対象に。②今後は資源管理型漁業や担い手育成・観光との連携・付加価値販売も必要だが、地理的

ハンディもあり、漁協と協議しながら支援、協力体制確立を。

A 長田市長

①十八年度からは現行要綱内に釣竿を追加し、現行どおり補助率二分の一以内、上限が二十五万円で運用する。

②ぜひ、今後は資源管理型漁業や新規就業者の促進に努め、観光産業との連携も含め漁協とよく協議し、生産性の上る事業を推進する。



第2回吉岐少年硬式野球大会（5 / 3ふれあい広場）

豊坂 敏文 議員



改革の声は大なるも、改善策は見えず。

A 長田市長

今後、職員の意識改革を重点課題として取り組む。

Q 委託業務

今回の補正予算でも見られるように、委託料の計上が過大であり、行政

Q 市道、農道の改良工事予算枠の拡大

①現行道路整備の完了年次遅延につき、予算枠拡大をすべき。



泉源と浴室の様子（湯ノ本すこやか温泉）

A 長田市長

②吉岐北部畜産センター基地並びに第二キャトルセンター建設予定地への連絡道路の施工は。

①年次計画を策定し、実施していく。

②市道神里線については十七年度から整備するとともに江角諸津線についても幹線道路として県道昇格要望も含め、取り組む。

Q 温泉源の有効利用

湯ノ本温泉に自噴泉源の湧出量が、一日当たり六百リットルあり、利用率が一割もなく、九割は海に流出している。で泉源所有者の協力的な意向もあり、公共施設への有効活用は。

A 長田市長

本自噴温泉水の有効利用に向けて検討する。

大久保洪昭 議員



Q 漁業補助金の拡充

現在、吉岐市においては、補助金等検討委員会が設置され、色々な角度から補助金、負担金等の見直しが行われている。この件については十分理解はできるが、低迷続きの漁業にも大型・中型マグロの回遊により元気を取り戻しつつある。また、施政方針の中でも漁家経営の安定向上に必要な施策・支援を述べている。こうした時期に思い切った支援が必要である。漁船近代化施設整備事業補助金等の枠拡大を求める。

A 長田市長

「春の吉岐、冬の大間」と東京の築地でも言われるように非常に吉岐のイメージアップに貢献されており、十八年度からは現行要綱内に釣竿を追加し、現行どおり補助率二分の一以内、上限が二十五万円で運用するが、補助額の枠については今後検討する。

A 長田市長

六頭のイルカしか泳いでいない。入場者も激減し、閉園ということにもなりかねない。その対策は。

Q イルカパークの今後

イルカパークには現在

県の二十一世紀まちづくり推進総合支援事業で、イルカ購入まで含めた自然体験の拠点として吉岐北部海洋性公園計画を掲げ、イルカパーク再生に三力年計画で取り組む。今後ともイルカ捕獲枠獲得等、水産庁にも積極的に要望していく。



イルカのお友達はいつ来るの？

市山 和幸議員



定着しているので、投票時間を夕方六時くらいに繰り上げたら経費の節減にもなると思うが。

A

福田選管委員長

Q

投・開票時間の短縮

今回の市議会議員選挙の開票の報告に関して、市民の皆様からあまりにも発表が遅いとの苦情が出ている。不在者投票や期日前投票制度も市民に

市議会議員の選挙における投票所の開閉時間については、市町村選挙管理委員会が必要であると認められる事情がある場合には、繰り下げ・繰り上げが可能。市民の要望も強いので今後、投票所を閉じる時刻の繰り上げ



深夜まで及んだ開票作業（8月7日）

については、十分に検討する。

Q

漂着ゴミの撤去問題

吉岐島の海岸線は漂着ゴミで景観が非常に見苦しい。観光面でも、海産物の保護という観点からも、もっと予算を計上して撤去に力を入れるべき。

A

長田市長

海岸線の景観・水産資源の保護・観光の面などを考慮し、本年度も国や県の補助事業で対応する。来年度以降についても継続して取り組んでいく。

A

山本市民生活部長

シルバー人材センターの活用や自治会・漁協関係の協力体制で、最小の費用で最大の効果を上げるように今後検討していく。

深見 義輝議員



識を持たせる。集中改革プランに財政の健全化・課税の適正化・滞納縮減等について明示する。

Q

財政プラン

景気情勢の減退と経済の不況に伴い、個人所得の減収の中に、市民税の納付は厳しいものがある。今後の滞納金の徴収対策と集中改革プランにも検討すべきである。

A

長田市長

平成十七年度の滞納繰越額は、市税・国民健康保険税の合計で四億六千万円を超す金額で年々増加傾向。そのため、税務課に納税特別対策班を設置し、時間外の納税相談・徴収をさせる。さらに全職員に税に対する意

Q

子育て支援

経済的な状況の中で共働きが多くなった。また、少子高齢化社会の対策にも、低学年だけでも学童保育や子育て支援課がないか。

A

長田市長

今後も保育所の機能充実のため、市民福祉課に児童家庭班を設置し、保育所運営・母子福祉などを専門的に検討する。さらに子育て支援ネット

Q

道路の整備

市農協が計画の第二キヤトルセンターと隣接する市道の早急な局部的改良が必要。

A

長田市長

地域の状況を見て対応する。



整備が待たれる市道（箱崎江角触付近）

近藤 団一 議員



Q

市職員の意識改革

今、行政はサービス業、市民はお客様という認識が、職員になればどうしようもない。電話の応対、名札、挨拶、市民病院の案内人配置など、常識的な所がなぜ出来ないのか。

A

長田市長

意識改革は必要。研修会の内容が実行に移されるよう積極的に働きかける。

Q

選挙関連の改善策

開票速報、看板の作成、設置の場所など、効率的な見地から早急を。

A

福田選管委員長

見直しの検討を計画している。開票状況、広報についても市民の要望に応えられるよう努力する。

Q

市営住宅の更改

昭和四十年前後に建てられたものの中には、ドアの開閉時に住宅全体に音が響き渡るという事例もある。整備の計画は。

建て替えが計画されている市営住宅（瀬戸浦）

A

長田市長

維持管理は市営住宅管理人を通して要望すれば協議をしながら改善していく。整備計画は住宅マスタープランが地域住宅計画と法改正がなされたのでその中で対応する。

Q

議会と執行部で政策委員会の設置を

執行部が出す政策や提案が、議員の意見より優先というなら議会はただのイエスマン。議員も市民の負託を受けており、政策のすりあわせも必要では。

A

長田市長

予算を議会に提案する権限は地方公共団体の長。執行部と議会のなれ合いになってはいけませんが、大型プロジェクト・新規事業に対しては説明をして、意見を聞く。

町田 正一 議員



Q

行財政改革

職員の人件費だけで五十億円にもなっている現状では、吉崎市独自の給与体系を作る必要がある。三月までには、抜本的な改革の具体案を。サンドームは、売却するか破棄した方がよい。

A

長田市長

吉崎市独自の給与体系の作成は職員組合の理解も必要なので、三月末までには出来ない。サンドームの地域での役割を含め、直営で行うべきか、指定管理者制度を導入するか、売却か廃

止すべきか今後研究する。

Q

ゴルフ場

本年民事再生法の適用を申請され、事実上倒産したが、果たしてきた役割は大きく、閉鎖するわけにはいかない。旧勝本町と結んでいた増ホール分の土地無償貸与契約書は有効なのか。また、経営責任、市民・議会への報告義務を果たすべき。

A

長田市長

現在民事再生を申請中であり、契約は有効である。経営努力はされているが、経費の削減も限界にきており、収入増を見込むには、早急に島内外からの利用者を増やすことが課題である。

Q

漁業振興策

廃船処理の補助は確約されたが、来年の予算でできるのか。油代については補助が絶対必要。

A

長田市長

プラスチック船処理は五漁協に相談しているが、現在まで回答がない。回答があれば即、来年度の予算に反映する。燃料の補助は漁業だけでなく農業関係もあり、莫大な金額になるため、国・県等へ積極的に働きかけていく。



勝本漁協給油所

坂本 拓史 議員



Q 今後の農業振興

① 高齢化により、牛舎やハウスが今後放置状態になりかねない。また、新規参入も大きな設備投資への不安や環境問題で厳

しい状況。産地の維持や規模拡大のため、畜産団地やハウス団地を造成し、後継者対策・農業振興のため環境整備が必要では

② へい獣処理の解決策は、

A 長田市長

① 多くの課題を抱え、将来を見据えた農業振興を図る。
② へい獣処理は最善策を早期に検討する。



建設中の芦辺港ターミナルビル

Q スポーツ施設整備

スポーツ合宿の勧誘や将来ある壱岐の子供たちのためにも、県・全国レベルの公式な大会を招致できる全天候型グラウンドや野球場が必要では。

A 長田市長

財政面から既存施設を整備し、今後、検討する。

Q ターミナルビル建設

芦辺港ターミナル建設ビルの建設は予定通りに進んでいるようだが、海砂移転が未解決で浮き桟橋工事ができない状態と聞か。

A 長田市長

海砂移転については港湾漁港整備促進委員会を始め、関係団体と十分に検討協議し、対応したい。

小金丸益明 議員



Q 転ばぬ先の杖を！

一支国博物館(仮称)建設計画は莫大な建設費と将来にわたる維持管理費で、市の財政を圧迫し続けることが予想される。

少子高齢化社会にあつて、人口と税収が減少の一途をたどる。本計画の推進は、市民が真に必要とする事業の凍結や住民の多様化するニーズに対応できなくなること予想され、市にとつて余にも負担が重い。よつて再考すべき。将来の展望は。

A 長田市長

壱岐にしかない素晴ら

しい資源である原の辻を活かし、この事業を、将来市の活性化につなげるため、推進していく。

維持管理費も含め、今後市の負担をできるだけ軽減していけるように、県に強く要請していく。

Q 箱物行政の検証を

市の財政再建が急務とされつつ、施設の運用面の改善が遅々として進んでいない。行政、議会に専門家を交えて、各施設の運用状況を評価するプ

ロジェクトチームを立ち上げるべき。

A 長田市長

市管理の百八十七施設については七月の機構改革で管財課を設け、一施設ずつ検証している。今後外部の専門家の意見も取り入れて、直営で行うべきか、指定管理者制度の導入がふさわしいか、また、売却すべきかなどに区分・整理する。



遺跡復元整備が進む原ノ辻

市山 繁議員



次に、災害時の体制は、市内の民間病院等の協力を頂きながら機能分担をしていく。

病院からの派遣には影響はないのか。九州大学医学部と正常化すべき。

Q 医師の確保

この度の山口大学医学部第二外科からの派遣は正式で継続的か。

九州大学医学部第二外科から医師の派遣が不可能とのことであるが、未解決のままでは今後他の

A 長田市長

山口医大の医局より今後ともご支援頂けるものと思っている。

九州大学第二外科との

関係についても引き続き、多面にわたりご指導頂きたいとお願いしている。

Q 機構改革

行政はサービス産業と言われているが、今回の機構改革により住民サービスの低下になっていないか。

A 長田市長

合併後一年は支所機能を低下させないよう、ある程度支所に権限を持たせている。今後は市の将来を考え、本庁に集約していきたい。分庁方式をとれば、経常経費も多くなるので、本庁から出向くという体制をとる。杵岐の将来を考えて合併したのだから、行財政改

赤木 英機議員



革をして、効率的な行政をつくっていく。そのためにも、職員も含め、市民の意識改革が必要。

Q 市民病院の運営と機能の発揮

杵岐の地域中核病院として開院以来、病院事業の運営は、計画と現状はまた、島内唯一の災害拠点病院公的中核病院であるが、災害時の緊急対応、日曜・休日・救急患者の搬送等、医師・看護師の待機及び応急処置等の体制は。また、指揮・管理運営ができる管理者を早く選任すべき。

A 長田市長

五月にオープン以来、当初の見込み数に達しておらず、今後とも厳しい状況下にある。



市民病院



窓口の様子（勝本支所）



の教育でなく研修会の内容やその後の取り組みに
対し他の行政機関の手法
も考慮すべし。管理職の
危機管理に対する意識改
革も同様。

Q 職員教育に新しい風を

職員の意識改革が必要な時期である。押しつけ

A 長田市長

適宜必要な研修を積極的に
に行い、職員の意識改
革に努める。職員とのコ
ミュニケーションを取りながら
他の機関の手法も考慮し、新し
い風を入れて取り組む。



広いお庭で遊びたいな！（石田保育所）

Q 石田保育所

ゼロ歳児保育の開始と
園庭の拡張及び排水工
事が必要。

A 長田市長

預かり保育の推移を見
て検討する。園庭の排水
は対策を講じる。拡張は
周辺施設を含めた整備方
向を検討する。

Q 住民サービス

①各支所の入り口に案内
の標識設置を。
②機構改革に伴い健康保
健課が集約されたこと
により市民の弱者切り捨て
では。

A 長田市長

①直ちに設置する。
②現体制がベストではな
い。必要であれば見直し
弱者切り捨てにならない
ように対応する。

市議会議員 研修会



講師の野村稔氏

去る八月二十三日、松
浦市において長崎県市議
会議員研修会が開催され
た。

講師の野村稔氏は全国
都道府県議会議長会に約
四十年務められ、地方議
会に関する数々の著書を
出版されるなど、議会運
営についての第一人者で

ある。現在は地方議会研
究会の代表を務められ、
精力的に活躍されている。

野村氏は議会の活性化
について、「先例を見直
し、住民に分かりやすい
議会運営にするべきだ。」
また、議会と執行部、市
民との関わりについて、

「議員が議会で発言をす

るから執行部は圧力を感
じる。それにより、執行
部も緊張感を持って良い
行政が執行でき、その恩
恵を市民全体が広く受け
ている。」と述べられた。

今後の市議会議員のあり
方を考える上で非常に意
義深い研修となった。



あなたの写真が 議会だよりの表紙を飾る！

①メインテーマ

「次世代を担う沓岐のこどもたち」

②応募資格

市内在住、在勤及び在学の方

③撮影場所

沓岐市内

④応募可能な写真

現像した写真（L判以上）か電子データ（400万画素以上でJPEG形式）で縦向きに撮影したものに限り
ます。なお、被写体となった人、建物の管理人等に、
応募することの許可を得てから撮影してください。

⑤応募方法

住所・氏名・連絡先・撮影場所及び写真のサブタイ
トルを明記し、議会事務局宛に郵送または持参して
ください。

⑥応募締切

平成18年1月10日（火）まで。

⑦写真の選定

沓岐市議会広報委員会で行います。

⑧紙面への掲載事項

- (1) サブタイトル（応募する方の写真に対するコメント。文字数は20字程度）
- (2) 撮影者の氏名

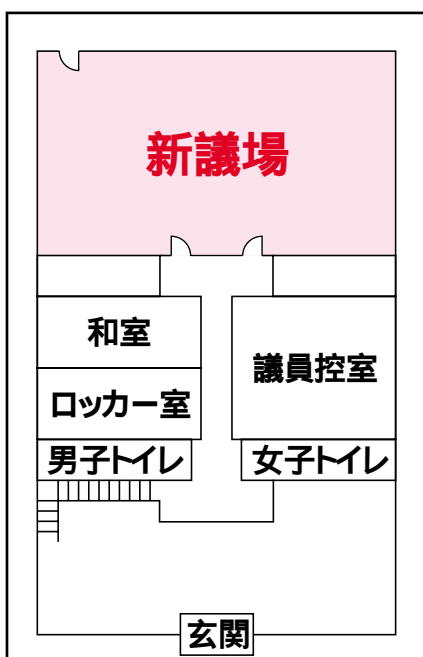
応募いただいた写真は原則、返却いたしませんので、ご了承ください。



あなたのご応募
お待ちしております！



新議場となる会議室



沓岐西部開発総合センター2階平面図

お知らせ

議場の場所が変わります

十二月定例会より、今まで使用して
いた沓岐西部開発総合センターホール
から、二階会議室へ議場が変更とな
ります。詳しくは議会事務局（四二一
一）へお問い合わせください。

傍聴へどうぞ

市民皆様によって選出された議員の活動や市政の方針・市長の考え方を知ることができる場、それが本会議です。

傍聴は市議会活動に触れる最も身近な方法です。

受付で住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。

通常、本会議は午前十時から開催されます。

吉崎市議会は市民皆様の傍聴をお待ちしています。

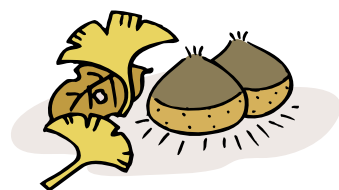


傍聴席から

議会運営に新しい考えを

芦辺町 高下 覺

私、合併後、勝本町の友人と欠かさず傍聴させて頂いております。新たな議会に期待したいことがあり、述べたいと思います。まず、一般質問の持ち時間についてです。一人40分では、住民代表の議員の方が十分な発言をしたり、また、市長の満足のいく答弁ができないのではないかと感じました。傍聴人が少なく寂しい気がします。市民は市政に関心を持ちつつも、平日では仕事で傍聴に行けないのが現状だと思います。全国でも休日に議会をしているところが多くあるようです。開かれた議会にするために、吉崎市でも是非試みる価値があるのではないかと思います。市民の目線で議会が運営されることを期待します。



編集後記

朝夕めっきり涼しくなり秋の訪れを感じるようになってきました。さて、今号は吉崎市議会二十六名新体制後初めての発行となります。今後吉崎市には取組むべき課題が山積されており、議会や委員会での審議内容等市民の皆様にも少しでもわかりやすくお伝えすることが「議会だより」の使命と考えております。そのためには市民皆様からの貴重なご意見や感想等を取り入れ、創意工夫し、市民に愛され、親しまれる「議会だより」になるように編集員一丸となって取組んでいきます。また、「議会だより」だけでは議会の雰囲気すべてお伝え出来ません。ぜひ、一度傍聴に来てみませんか。今後とも市民皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(鵜瀬)

議会広報特別委員会
(写真右から順に)

町田 光浩委員
市山 和幸委員
今西 菊乃副委員長
鵜瀬 和博委員長
豊坂 敏文委員
深見 義輝委員



発行/吉崎市議会 編集/議会広報特別委員会
〒811-5521 長崎県吉崎市勝本町西戸触1825
TEL 092-042-1111
FAX 092-042-0096

発行日/平成17年11月1日
・メールアドレス gika@city.iki.nagasaki.jp
・いき 議会だよりは吉崎市ホームページにも掲載しています。
・ホームページアドレス http://www.city.iki.nagasaki.jp